

令和5年1月10日



第176号



あまぬまだより

http://www.suginami-school.ed.jp/amanuma_es/ 杉並区立天沼小学校



新年のお慶びを申し上げます

校長 松野泰一

令和5年が始まりました。本年も教職員一同、天沼小学校が子どもたちの充実した学びの場となるよう取り組んでいきたいと思います。みなさまには引き続きご支援をよろしくお願ひいたします。

毎年、学校だよりに書いていますが、私の年初の決意は、今年も「ゆづる、つつしむ、感謝する」です。ずいぶん前から、元旦には毎年同じ言葉を掲げて、今年も意識しようと思うようになりました。人の喜びのために譲り、浅ましいことをしないように慎み、そして自分が今ここにあることを周りに感謝する、今年もそういう一年を過ごしたいと願うからです。特にここ数年は、コロナ禍や経済状況の悪化などの背景からか、「譲らない・慎まない・感謝しない」人間が社会の中に増えてきたように思います。自分のことばかり考え、当たり前のことだと言って感謝せず、文句を言うだけの人間にならないよう、自ら気を付けていきたいと思います。

さて、昨年末はFIFAワールドカップ2022カタール大会で各国代表チームの激戦が繰り広げられ、日本代表の活躍やワールドクラスの選手たちの力と技のすばらしさを堪能しました。それぞれの国を代表して闘うチームには、卓越した身体能力と技術をもった個性溢れる選手たちが選ばれていますが、チーム戦術のもとでそれぞれが能力を発揮することで、11人の力がそれ以上に発揮されることもあります。反対に、一人一人がいくらいよい動きをしても、それがうまく折り合わずにチームとしての力が発揮できないこともあります。

ところで、代表チームには、通常、ゴールキーパーが3人選ばれます。他のポジションの選手は、試合の流れや疲労などを考えて、試合の途中で交

代をすることもあり、先発メンバーでなくても試合に出場する可能性はあります。しかしゴールキーパーは、ほとんどの場合1人でゴールを守りきり、交代することはあまりありません。味方の守備の選手との連携もありますから、試合ごとにゴールキーパーが替わることも少ないようです。2人目の選手は、1人目が出場停止になったり怪我をしたりした時に出場することがありますが、それが重なって3人目のゴールキーパーが試合に出場するようなことになったらそれはチームの非常事態ですし、その機会はほとんどないと言っています。それでも、そのほんのわずかな可能性のために、3人目のゴールキーパーは練習を続けています。もちろん、「自分が代表選手として試合に出たい」と強く望む気持ちはあると思います。しかしそれと同時に、チームの一員として陰で支えるという自分の役割を全うしようと強い気持ちもあるでしょう。出場できる選手も、できない選手も、それが自分に与えられたチャンスと役割を精一杯こなす、それがチームの力になるのです。どんなに小さな役割でも、表に出ない役割でも、それをやり遂げることで、全体として素晴らしい成果を上げることができ、そのことが個々の達成感や成長につながります。

チームの力が求められるのはスポーツだけではありません。仕事でも、そして学校でも同様です。一人一人が、自分の能力や個性を発揮するとともに、自分に与えられた役割を果たしていくことで、集団として大きな力が出せるのです。日々の学習や生活、行事の中で、集団として成長していくことが、学校という場で大勢で学ぶ良さだと考えています。

** 今月の目標 **

生活

礼儀正しく過ごしましょう

保健

寒さに負けず、元気に過ごしましょう

給食

寒さに負けない体をつくろう



1月の行事予定

賀
正

日	曜	行事予定
1	日	元日
2	月	振替休日
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	冬季休業日終
8	日	
9	月	成人の日
10	火	始業式 特時 最終下校12:15
11	水	給食始 計6 委員会活動
12	木	安全指導 書初め4 計5
13	金	計4
14	土	土曜3時間授業 AKA交流学習
15	日	
16	月	書初め3 計2 低フォ
17	火	たてわり班 計3 フォ
18	水	書初め56 計1
19	木	百人一首模範 計2 理科教室3 HS
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	午前授業
24	火	社会科見学5 フォ
25	水	読み聞かせ34こ 5時間授業
26	木	百人一首の日
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	校内書初め展始～2/3(金) 低フォ
31	火	フォ

学校支援本部コーナー



天沼小学校支援本部(あまぬまワンダラーズ)の活動を紹介します

地域とつながる校外学習

天沼小の教育はたくさんの地域の方々のご協力を得て行われています。6年生の「私たちのあまぬま」、5年生の「AKP(天沼会社経営プロジェクト)」や2年生の「町たんけん」等々。

そして先日、この2年間コロナ禍で行うことができなかった3年生の「お店番体験」(総合的な学習の時間)を行うことができました。お店番ごっこではなく、本物に触れる体験を通して仕事をするということはどういうことを考えたり、働くことに対して興味を持ったりするための学習です。緊張しながらも各店舗の皆さんに教えていただき、一生懸命にお仕事をしている姿が見られました。

忙しい時間帯、また4日間という日程にも快く受け入れてくださった荻窪教会通り商店会ほか、各店舗の皆様には大変感謝しております。この体験学習が地域の皆さんと交流を進めるきっかけになり、また子どもたちを通して地域と保護者の皆さんともつながりができるといいと思っています。



学校運営協議会コーナー

子どもたちの眼の話

昨今、子どもたちの視力低下が心配されていますが、天沼小の子どもたちも例外ではありません。昨年、子どもたちの裸眼視力低下の対応策として、CSの呼びかけで保健委員会の児童が作成した「眼の体操」動画を、3年生以上はご家庭でも視聴できます。ロイロノートの〈資料箱→学校共有→R3委員会→保健〉※1・2年生は学校でのみ視聴可能。

また、近年は近視のほかに子どもたちのドライアイの増加も気になるところです。

ドライアイとは、目を使った作業によって瞬きの回数が減少することで目の表面が乾燥し角膜がむき出しどよって表面が傷つく病気です。

対策としては、意識的に瞬きの回数を増やしたり、人工涙液の点眼やお風呂に入った際に暖かい蒸しタオルで目を暖めたりすることによって、涙の蒸発を防ぎ、涙の質が上がります。是非ご家族で実践してください。

～「学校評価」アンケートのお願い～

学校運営協議会では、児童、保護者、教職員、地域の方を対象にした「学校評価」アンケート調査を行っています。(1月上旬に配布予定)

これは天沼小学校の学校運営方針に基づく様々な取組について、皆様からの貴重なご意見をいただき、その結果を踏まえて一年間を振り返るとともに、次年度の学校運営に生かしていくものです。アンケートを配布いたしますので、回答方法などはそちらをご確認ください。

最後になりましたが、皆様の学校教育へのご理解とご協力に対して厚く御礼を申し上げるとともに、お忙しい中ご協力いただきますこと、重ねて御礼申し上げます。

幼・保・小連携教育

◆3ねん わくわく図書館◆

総合的な学習の時間に、幼稚園や保育園児に新しくできた「あまぬま図書館」を紹介する動画作りを行いました。グループごとでどんな内容にするかを話し合いました。あまぬま図書館内の絵本コーナーや新しく入った本のコーナーなどの図書館の中を紹介したり、幼稚園や保育園の子どもたちが喜びそうな絵本の紹介や本に関するクイズを出したりしました。話すスピードや撮る角度にも気をつけました。幼稚園や保育園の子どもたちが天沼小学校に来るのを楽しみにしてくれるきっかけの1つになれば嬉しいです。



◆学年別体育発表会練習授業参観◆

1年生や3年生が体育発表会に向けて練習している様子を幼稚園や保育園児が参観に来ました。1年生の授業ではダンスの練習やかけっこ並び方の練習。3年生の授業ではダンスの練習をしていました。園児に見られているということもあってか、1年生も3年生もお兄さんお姉さんとして張り切っているようでした。3年生の授業では、担任の先生から今日の練習は何点だったかな?という3年生に向けた投げかけに、園児の子どもが「100点」と答えました。1時間だけの参観でしたが、小学校の体育の授業の様子を参観してもらえるよい機会になりました。



スポーツ・伝統文化体験

狂言教室

5・6年生は、12月1日(木)に狂言師である和泉元彌さんに来ていただき、伝統文化である『狂言』の鑑賞教室を行いました。まずは、狂言の歴史や狂言とは何かをクイズを交えて話していただきました。6年生は国語の教科書に『狂言』が出てくるので、知っていることと重ね合わせて聞いていました。その後、『附子』を観賞しました。言い回しが難しいところもありますが、子どもたちは所々で笑いながら、楽しそうに見ていました。最後に、狂言の体験をしました。動物の鳴き声や所作を教わり、同じようにできるよう、一生懸命取り組んでいました。今に続いている伝統文化の体験をし、狂言の面白さを感じることができました。



バレーボール教室

4年生は、日本バレーボール協会によるスポーツ体験学習「ソフトバレーボール」に取り組みました。元プロのバレーボール選手をお招きし、全3回の講習でバレーボールの基本的な技能について学習しました。活動内で盛り上がったのが、ボールをつなぐ練習の一環で取り組んだパスゲーム。ボールを落とさずに、味方同士で何回つなげるのか競い合いました。互いにパスする距離を縮めたり、パスする相手の名前を呼んだり、それぞれのチームの色がよく出ていました。学習後半では、アンダーハンドパスやオーバーハンドパス、アタックなどを練習し、どうやったらボールを味方につなげるか、どうしたら相手コートにボールを落とすことができるかチームで考え、楽しみながらバレーボールに親しました。



5



5年生では総合的な学習の時間に、AKP（天沼会社経営プロジェクト）の学習をしています。今年度は「藍染ハンカチ」を商品開発・販売することになりました。株式会社「3A S M I L E」（スリーエースマイル）を設立し、現在は幹部・開発部・宣伝部に分かれて活動しています。会社とは何なのかというゲストの方のお話から、部ごとにやるべきことを考え、話し合いながら進めています。意見が食い違うこともありますが、“お客様を笑顔にすること”を第一に販売準備をしています。どのような商品になるか楽しみにしていてください。

こだま



こだま学級では、総合的な学習の時間の中で「ペットボトルプロジェクト」活動を行っています。全校児童に協力をつのり、ペットボトルキャップを集めています。集まったキャップは、天沼中学校へ届けに行きます。その集められたキャップがリサイクルされ、「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを日本委員会（JCV）」へワクチンとして寄付されています。

今年度、天沼中学校で集められたペットボトルキャップは以下の通りです。

個数：80,000個 ワクチン：80.0人分

ご協力ありがとうございました。今後とも宜しくお願ひいたします。

3



11月29日から12月2日に、総合的な学習の時間「お店体験をしよう」の学習で、教会通りのお店に行き、仕事をしました。事前にお店に行き、持ち物や仕事内容についてインタビューをし、自分たちで準備を進めました。当日は、初めてのことばかりで緊張していましたが、大きな声で呼び込みや販売をし、たくさんの方々の笑顔を見て、嬉しさや楽しさを実感しながら仕事をしていました。お店体験を通して、働くことの大変さや喜びを知ることができました。

キャリア教育

4



4年生は「ユニバーサルデザイン」について調べてまとめ、発表する学習を進めています。ユニバーサルデザインとは、障害の有無に関わらず、「すべての人にとって使いやすいデザイン」です。この学習では実際に視覚障害の方をお招きし、生活の苦労や工夫についてのお話を聞きました。ここでシャンプーやジャムの容器には、触ることで中身がわかる工夫がされていること等を知ることができました。

6



6年生の社会の「国と政治のしくみと選挙」では裁判所の仕組みについて学習し、社会科見学では実際に裁判を傍聴しに行きました。裁判傍聴するにあたっての約束事や知識などを、事前に弁護士の方からお話を聞きました。実際の裁判に触れ、普段学校では味わえない雰囲気を感じることができました。教室で学ぶだけではできない体験を通して、裁判所について理解を深めることができました。

1 2



2年生は、3学期に紙すきを1年生に教えるために、去年のことを思い出しながら紙すきを行いました。最初の牛乳パックから薄いビニールをはがす作業では、苦戦しながらもコツを教え合って取り組んでいました。その後残った紙を細かくちぎる作業では、「ちぎるのももしろい！」「早く紙すきやりたいね。」という声が聞こえ、楽しんで日本の伝統に触っていました。これから、どのように教えたら1年生にも分かりやすいかを、みんなで考えていきます。